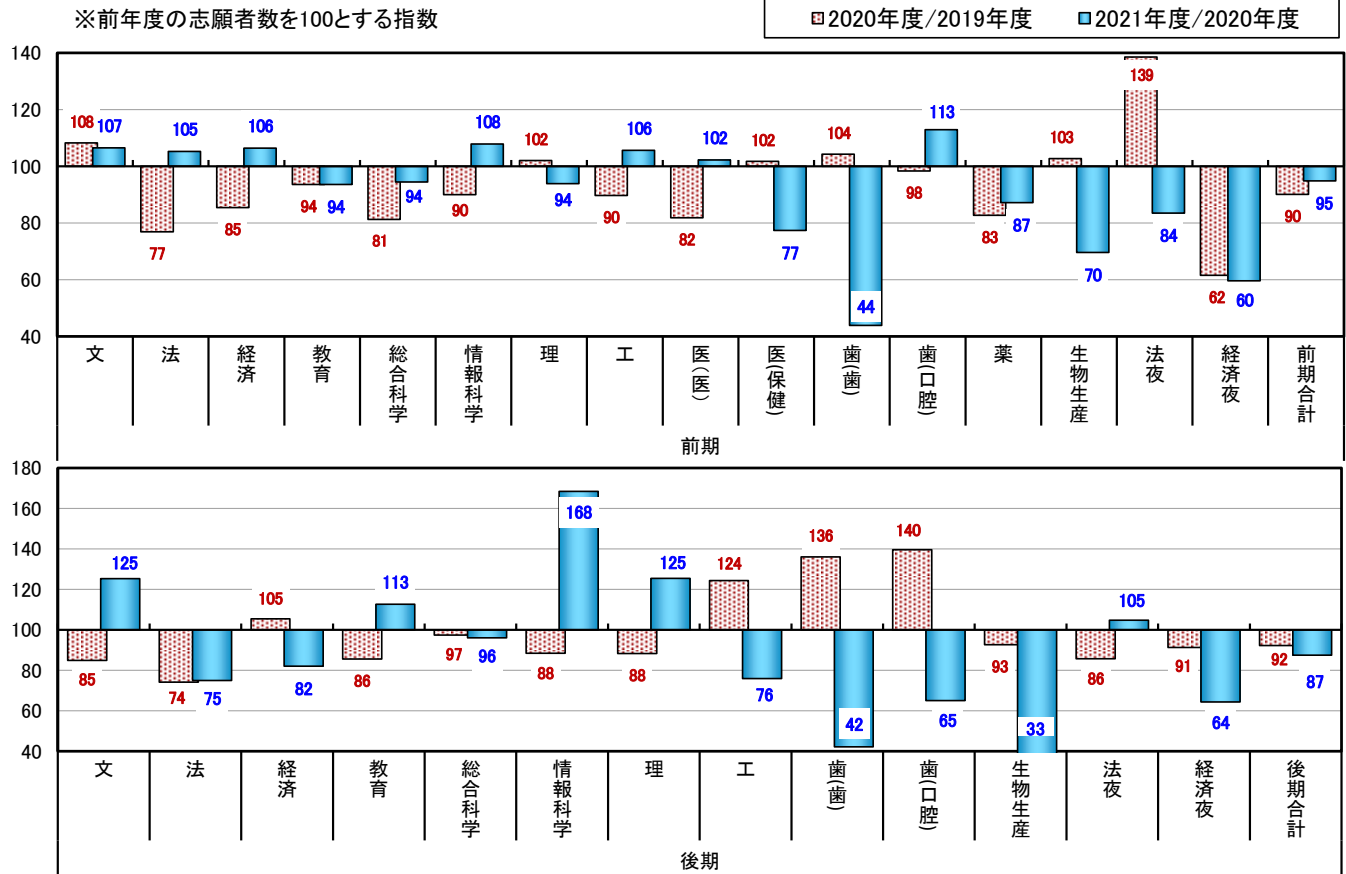


2021年度入試状況分析【国公立大】

広島大：前期、後期ともに2年連続減少

前期：-223人 後期：-282人



COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は223人(95)のやや減少、後期は282人(87)の減少。学部別では、情報科学はいずれも2年連続減少の反動で前期(108)は増加、後期(168)も大幅増加。一方で、系統への人気が高い歯は前期(62)、後期(46)とも大幅減少。なお、法夜、経済夜を除くと、前期は168人(96)のやや減少、後期は260人(88)の減少。

＜前期日程＞

- 文(107)は、やや増加で2年連続増加。
- 法(105)は、系統への低い人気も影響し、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。
- 経済(106)は、2年連続大幅減少の反動は小さく、やや増加に留まった。
- 教育(94)は、やや減少で2年連続減少。系別では、(学校)(106)は2年連続減少の反動でやや増加、(生涯)(103)はやや増加で2015年度以降、前年度の反動による増減が継続。一方で、(言語)(79)は大幅減少で4年連続減少、(人間)(84)は大幅減少で2016年度以降、前年度の反動による増減が継続、(科学)(85)は2年連続大幅減少。
- 総合科学(94)は、2年連続減少。学科別では、(総合科学)(94)はやや減少で2年連続減少、(国際共創)(97)はやや減少で3年連続減少。
- 情報科学(108)は、2年連続減少の反動で増加。
- 理(94)は、2年連続増加の反動でやや減少。学科別では、(地球惑星システム)(206)は倍増以上の激増、(数学)(127)は前年度減少の反動で大幅増加。一方で、(生物科学)(47)は前年度大幅増加の反動で半減以下の大幅減少、(物理)(70)は2年連続増加の反動で大幅減少。
- 工(106)は、2018年度に募集単位を改めて以降2年連続減少の反動でやや増加。募集単位別では、入学時に4つの類に所属せずに、1年次前期終了時点で成績と希望によって各類に配属される(工学特別)(205)は前年度半減以下だった反動で倍増以上の激増。類別募集は、(第三類)(122)は大幅増加、(第二類)(110)は増加。一方で、(第四類)(61)は大幅減少、4つの類のいずれも前年度の反動で増減。
- 医(医)(102)は、前年度大幅減少の反動は小さく微増。
- 医(保健)(77)は、大幅減少。3つの専攻のいずれも大幅減少。募集単位別では、(保健/看護(文科系))のみ大幅増加。
- 歯(歯)(44)は、2年連続増加の反動と系統への低い人気で大幅減少。志願倍率も5.2倍→2.3倍へダウン。募集人員が33人になった2011年度以降で初めて志願者数が100人を下回った。
- 歯(口腔)(113)は、5年連続減少の反動で増加。専攻別では、(口腔保健)(125)は大幅増加で2年連続増加、一方で、(口腔工)(96)はやや減少で6年連続減少。
- 薬(87)は、減少で2年連続大幅減少。学科別では、(薬科学)(60)が2年連続増加の反動で大幅減少。志願倍率も3.4倍→2.0倍へダウン。
- 生物生産(70)は、前年度増加の反動と系統への低い人気で大幅減少。

2021 年度入試状況分析【国公立大】

<後期日程>

- 文(125)は、3年連続減少の反動で大幅増加。
- 法(75)は、2年連続大幅減少。
- 経済(82)は、2年連続増加の反動で大幅減少。募集単位別では、(文科系)(69)は大幅減少、(理科系)(733)は7倍以上激増。
- 教育(113)は、4年連続減少の反動で増加。系別では(人間)(154)が3年連続減少の反動で大幅増加。
- 総合科学(96)は、2年連続やや減少。
- 情報科学(168)は、2年連続減少の反動で大幅増加。志願倍率も6.3倍→10.7倍へアップ。志願者数は2018年度に新設以降で最多。
- 理(125)は、大幅増加。学科別では、(数学)(184)、(化学)(135)はともに大幅増加。一方で、(地球惑星システム)(45)は2年連続大幅増加の反動で半減以下の大幅減少。
- 工(76)は、前年度増加の反動で大幅減少。志願者数は2018年度に募集単位を改めて以降では最少。募集単位別では、(第一類)(47)は半減以下の大幅減少。※2019年度から3回だけなので不要
- 歯(歯)(42)は、3年連続増加の反動で半減以下の大幅減少。志願倍率も20.9倍→8.8倍へダウンし、10倍を下回った。
- 歯(口腔)(65)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 生物生産(33)は、激減で2年連続減少。志願倍率も12.7倍→4.2倍へダウンして、5倍を下回った。